

東ト協青年部情報紙



「継続が伝統に」

本部長 結城 賢進 (深川支部 結城運輸倉庫(株))

日頃、青年部の活動にご理解・ご協力頂きまして、誠にありがとうございます。今年も残すところあと数日。あっという間の一年と思うとともに、振り返るといろいろなことがあった一年。毎年この時期になると一年という時間の重みを感じます。皆様はどんな一年だったでしょうか？

11月14日から18日まで、2年に1度の海外研修視察を開催しました。教育研修部遠藤部長を含め、総勢19名での船出。行き先はベトナム南部の都市ホーチミン。

海外研修には大きく2つの意義があると考えております。一つ目は、日本との「違い」を知る、感じる。物流事情に限らず、その国の文化・言語・宗教から、生活スタイル・ビジネスに至る様々な「違い」を知り感じることで、気づきが増え、経営者の資質の一つである視野の広さが養われるという点。二つ目は、参加者との親睦。寝食を共にし、同じ時間を共有していく過程で芽生える仲間意識・絆。業界の次世代を担う青年部にとって、荷主や国民に対して我々業界の社会的意義を発信していくために必要な結束力が培われるという点。

研修報告の詳細は、中央支部の渥美さんにお任せしますが、今回のベトナム研修視察では、様々な気づきを得るとともに、多くの貴重な体験ができました。海外研修は、東京都トラック協会 青年部の伝統です。過去様々な要因で開催されないこともありました。今回も敢えて海外でなくても、という意見もありました。

しかし環境の変化が激しい時代においてこそ、継続していくこともまた大切であり、それが組織の強みとなって、そして伝統となっていくと思えます。

ともあれ、今年一年大変お世話になりました。来年も引き続き、青年部の活動にご理解とご協力をよろしく願います。

2017年(平成29年)12月19日

年末号 No. 75

(一社)東京都トラック協会青年部発行

編集者：広報委員長 中西 亮介(板橋支部・成増運輸(株))

東京都新宿区四谷三丁目1-8

TEL：03-3359-4137

FAX：03-3359-6020

青年部HP <http://www.ttas.jp/>



※青年部HPに活動報告を掲載!

支 部 だ よ り

◇新宿支部

11月12日(日)、「新宿ここ・から広場」で恒例となった「第7回ここ・からまつり」が開催されました。朝は冷え込みが厳しくもありましたが、日中は暖かくイベントにはうってつけの一日となりました。

ここ・からまつりは子育て支援施設をはじめ、就労支援施設、高齢者福祉支援施設、多目的広場からなる複合施設で毎年開催されており、訪れる子どもから高齢者まですべての世代、施設・団体、地域ボランティアが一体となって運営し、楽しみながら交流を深められる催しです。

新宿支部では、開演時間前から長蛇の列が出来る程の人気になった「移動動物園」を開きました。少し大きめの仔牛や羊・山羊、七面鳥、気軽にふれあえるうさぎ、モルモットなどたくさんの動物がおり、子どもから大人までエサやり体験やふれあいを楽しんでもらいました。途中、グラウンドで鉄砲組百人隊による火縄銃の試射が行われ動物への影響が心配でしたが、動物たちは気にすることなく無事に動物園を終えることが出来ました。開演中、受付ではトラック業界の紹介パネルとノベルティ配布を行い、トラック業界のアピールを行いました。今後も地域の方との交流や社会貢献活動を通して、業界の認知・イメージアップ活動を続けてまいります。

新宿支部 情報通信員 諏訪 和正 諏訪運輸(株)

◇大田支部

11月4日(土)、5日(日)に平和島周辺の公園で開催された、今年で28回目の区内最大イベント「OTAふれあいフェスタ」に参加いたしました。

今年は、山形より3mの大鍋をお借りし「運送屋さんの大鍋2017」というタイトルで、「玉こんにゃく」と「いも煮」を皆様に振る舞いました。区民の皆様よりリクエストが多かった「大鍋」を開催することができ、我々青年部ブースに2日間で約5,000名のお客様に来場して頂きました。

また、区内在住の小学生以下の子供たちを対象に毎年恒例の「夢を運ぶ未来のトラック絵画コンクール」開催しました。応募いただいた作品は、大鍋の配布待ち時間に沢山のお客様にも見て頂きました。今年も素晴らしいアイデアの作品を沢山見ることができ、青年部一同、皆感心しました。

※青年部HP URL

<http://www.ttas.jp/>

QRコードで読み取り⇒⇒



入選作品については、大田区長より表彰を受けました。年々応募作品が少なくなる中、今後もずっと続けていけるよう、我々の業界に興味を持っていただけるように、日々頑張っ活動していきたく思います。

最後に、ご協力いただきました関係者の皆様、この場をおかりして厚く御礼申し上げます。

大田支部 部長 金井 健蔵 (株)共運

行事予定

★東ト協三組織「合同セミナー・新年会」

平成30年2月8日(木)

於：京王プラザホテル(新宿)

(1) セミナー 16:00~17:30

「これからのロジスティクス：KKDとAIを越えて」

東京工業大学 情報理工学院 教授 寺野 隆雄 氏

(2) 新年会 17:40~19:20

★全ト協青年部会「全国大会」

平成30年2月22日(木) 13:30~18:30

於：京王プラザホテル(新宿)

(1) 研修会 13:30~16:45

①「青年経営者等による先進的な事業取組に対する顕彰」
授与式・受賞者事業発表

②平成29年度青年部会活動報告

③パネルディスカッション

・テーマ：「働き方改革と生産性向上について

～長時間労働抑制に向けて～

・コーディネーター 日本PMIコンサルティング(株)

代表取締役 小坂 真弘 殿

・事例発表者 2社

・パネリスト 八大(株)代表取締役社長 岩田 享也 殿

(東ト協青年部副本部長・研修委員長)

他 青年経営者等4名

(2) 交流会 17:00~18:30

☆先日申込書はお送りして届いているかと思いますが、今回はパネルディスカッションに岩田副本部長・研修委員長がパネリストとして登壇されますので、多くの皆様に参加していただき、一緒に盛り上げていきましょう！

◇関ト協青年部会・研修見学会に参加して

11月2日(木)、関東トラック協会青年部会研修見学会が開催され、今年6月に竣工したばかりの茨城県トラック総合会館とひたちなか市にある自動車安全運転センター安全運転中央研修所を視察させて頂きました。

茨城県トラック総合会館は、本年6月に竣工した防災機能を備えた総合会館で、その敷地内には県の防災設備である県中央総合防災センターも立地しています。敷地面積2万平米で

県庁に近く水戸ICをはじめ4つのICへ15分以内の位置にあり、310台の駐車スペースを備えています。事務所棟は3000平米で、300人収容の研修室等を備え、倉庫棟は700平米で普段はフォークリフトの教習場として使用し、緊急時は救援物資の荷捌き場所となります。

実は今年7月8日の茨ト協青年部会の総会に出席する機会があり、その時はじめて茨ト協青年部会のメンバーもこの新会館の見学会を行いました。30人~40人ほどの出席者でしたが、見学の列の最初と最後では、離れてしまい、説明者も一人だった為、声が聞き取れなかったりしました。茨ト協青年部会の幹部の方々が「これは研修会の時の課題だな。」と言っていました。



【茨城県トラック総合会館の外観】

今回、昼食後、2グループに分け、2ヶ所行く順序を変えたり、現地での説明者を複数名にしたりと茨ト協青年部会総会後の修正が見え、運営側の工夫やご苦労を感じることが出来ました。

2ヶ所目に見学をした安全運転中央研修所では、濡れた路面を警察の方が運転するパトカーに乗せてもらいアンダーステアやオーバーステア、スピン等を実際に体験しました。この安全運転中央研修所は教習所教官の研修や白バイの研修等もやっていますが、我々トラックの研修も行っており、Gマークを持っていると全額補助が出るというような話も聞きました。また、宿泊施設もあり、何日間かの研修も行っています。非常に混雑して予約を取るのが難しいのではないかと思います、案内をされた時に職員の方に尋ねたところ、平日であれば比較的余裕があるとのことでした。今後、検討して当社でも是非活用できればいいなと思いました。

今回、UDトラックス上尾工場以来、2度目の研修見学会でしたが、非常に勉強になることが多く、また参加したいと思いますので、よろしく願いいたします。

大田支部 板橋 克尚 板橋商事(株)

◇東ト協青年部・海外研修に参加して

平成29年11月14日(火)より18日(土)までの日程で、東ト協青年部海外研修に参加させていただきました。

行き先は、ベトナム南部の経済都市、ホーチミン。気温は30℃ほどですが雨期も終わりを迎えており、過ごしやすい時季(現地ガイドさんの感覚)でした。

往復は羽田空港発着の深夜便を利用したため、現地滞在期間は、15日(水)早朝から17日(金)夜まででしたが、訪問先は港湾施設、日系物流業・製造業の会社と多岐にわたり、それぞれお話を聞く中で多くの関心・発見がありましたので、ここにご報告いたします。

TAN CANG CAI MEP THI VAI TERMINAL (TCTT)

カイメップチャーバイ港はホーチミン市内から幹線道路を南東方向に約 70~80 km、CAI MEP 川・THI VAI 川が海に差し掛かる手前に見えてきます。日本からの ODA によって建設され、2014 年より運用開始された、国内 5 番目の規模 (1,100,000TEU) というもの。※1TEU は 20 フィートコンテナ 1 個分。

特徴は、埠頭の総延長が 600m と長く、大水深ターミナルであること。160,000DWT の貨物船が受け入れ可能だそうです。

24 時間稼働しており、従業員数は 155 名。地方出身者も多く (優先雇用の制度もある)、都市部からは離れていても人員は比較的集めやすいようです。

太平洋に面しているメリットから、東南アジア・アメリカ東海岸・中東などへの定期ルートがあり、取扱い貨物の 80% ほどは、小さな船に積み替えて河川を用いてホーチミン市内やメコンデルタ地域へ送られ、その逆のルートで各所より貨物を取りまとめて海外へ送り出しています。

ここからトラックで輸送される貨物は 15% ほど。この割合の少なさが、ホーチミン市内へ向かう幹線道路の渋滞や、陸路による輸送ルート (国道整備) の不拡充に起因するものであったことは、これより後の研修行程の中で知りました。



【カイメップチャーバイ港視察の様子】

LOGITEM VIETNAM

1994 年に進出されて以来、国内・国際陸上輸送のほか、ドライバー付レンタカー事業など、日系企業の進出サポートまで幅広く事業展開されているお話を伺いました。

雇用面において、最低賃金が上昇し続けている (年 8%~10%) ことにより、賃金が社内規定で 6% くらいずつ上がっている点や、ベトナム人の勤勉な気質というイメージは女性にはあてはまるが、男性は楽に稼ぎたいという姿勢の方が多きことなどがお話のなかで印象的でした。

【ロジテムベトナムのトレーラー】



SAGAWA EXPRESS VIETNAM

ホーチミン市内とカイメップチャーバイ港との間に位置するニョンチャック工業団地の新倉庫を見学させていただき、1997 年に進出以降、日本の品質と同等のサービス展開をされている宅配事業の実情を伺いました。

この場所はフォワーディングを主としており、集約された荷物を港・空港へと、また届いた貨物は仕分けし、宅配事業の拠点はホーチミン市内に設置しているそうです。

視察中は、実際に出荷品の検品作業や、冷蔵トラックへの積み込み作業に出くわしました。

国際輸送における航空輸送が売り上げの多くを占めており、この工業団地としても長期的には付近に新空港が整備される予定の場所で、発展に向けベトナム政府も力をいれていく意向とのことでした。

宅配事業の説明の中で驚いたのは、再配達がほとんどないことでした。

これは多くの受取主が日系企業であることが理由で、一般の個人宅に届ける事案はまだ少ないようです。



【佐川ベトナムの倉庫施設視察】

矢崎EDSベトナム

こちらは 1995 年に設立され、自動車用ワイヤーハーネスの生産が主とのこと。高度な製品の生産作業ではなく、細かい作業を最大の効率で動かしているという説明を受けましたが、配線をコネクタに結び付ける作業は細かい部分が多く (老眼だと厳しいようです)、若い従業員がとても多くいらっしゃいました。福利厚生にも力を入れており、社内表彰やサッカー大会、サマーキャンプと様々な取り組みをご紹介いただきました。

海外研修をおえて

本部青年部の活動には今回の海外研修で初めて参加させていただきました。弊社は日ごろから同業他社との協業の機会も多いのですが、事業の枠を飛び越えて、さまざまな地域で活躍されている他支部の方々と、長い時間を共にし交流を深められた経験は、新たな発見・刺激を受けるよい機会となりました。これから企業経営の中枢に参画していく中で少しでも役に立たてられるよう、活かしていきたいと思っております。

最後になりますが、ともに参加された皆様、企画にご尽力いただきました皆様、現地でお世話になりました関係者様に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

中央支部 渥美 明哲 渥美運輸(株)

◇東ト協青年経営者研修会・忘年会

11月28日(火)東武ホテルレバント東京(錦糸町)にて、東ト協青年部 経営者研修会が開催されました。

テーマは『2020年 ZMP が世界を変える～自動運転タクシーから物流ロボットまで』。講師は、株式会社 ZMP 営業部長 龍 健太郎氏にお願いしました。

車の自動運転技術と進歩の速さ、特に搭載されているカメラとセンサーの正確な感知情報には驚きました。自動運転タクシーの実現化へのテスト走行やロードマップ、そしてロボティクスとしての物流への取り組みなどとても興味深い内容でした。

また、配達や倉庫内作業では欠かせない台車。ZMP 社では『carriRO (キャリロ)』と言う物流支援ロボットを開発し、手元のハンドルスロットル操作でも、スタッフの腰に付けたビーコンによってもフリーハンドで荷物を運べる。台車(キャリロ)にビーコンをつける事で、一人で何台もの台車で荷物が運べて、積み下ろしの際にはとても楽に作業ができる。弊社には倉庫はありませんが、ちょっと欲しくなりました(笑)

研修会終了後には少し早い忘年会を開催しました。

OBの諸先輩方にもご参加頂き、東ト協青年部らしい賑やかな時間を過ごしました。

忘年会の最中にT筑先輩と前々本部長T井先輩方がキャリロに乗り、自ら体験して頂き場を盛り上げてくれました。

【carriROに試乗する前々本部長T井氏(前)とT筑氏(後)】



また11年間にわたり、東ト協 青年部を支えてくださった齋藤孝行係長が今回異動になり、ご挨拶を頂きました。



【結城本部長から齋藤係長へ記念品贈呈】

結城本部長からささやかなプレゼントと惜しめない会員からの温かい拍手が贈られました。

江戸川支部 副本部長 天野 直人 東武高活運輸(株)

お知らせ

◆協会本部事務局の人事異動に伴う

青年部担当交代について

11月8日付で本部事務局人事異動がありました。

これまで青年部を担当していた齋藤係長は「事業振興部」へ、後任は「環境部」からの異動となりました。

※人事異動の詳細はトラック時報11/10号参照

・齋藤係長から

平成18年より青年部を担当させて頂いておりましたが、この度、11月8日付けで、教育研修部から事業振興部に異動致しまして、現在は複数の専門部会を担当させて頂いております。青年部担当時には、大変お世話になりました、ありがとうございました。

青年部は、研修等で知識を学ぶこと以上に、この協会をどうまとめていくのか、どう動かしていくのかを学ぶ=協会としての組織活動を学ぶ場であると思います。そして、青年部を経験した方の中で、東ト協の役員として活躍されている方々が数多くいらっしゃいます。そうした方々に続いて、今後も青年部から、業界を引っ張っていくリーダーが、数多く出てくることを強く願っております。また、この業界には、様々な課題が山積しております。1社1社の努力では限界であることも、協会として力を合わせ、知恵を出し合うことで、打開できることもあるかと思っております。この青年部において、組織活動の基礎を培って頂き、近い将来に、皆さんがしかるべき東ト協の役職等に就いた際に、業界をより良い方向に導いていかれることをご期待申し上げます。そして、重要な学びの場として、新たな若い人達をこの青年部に向かい入れることも行って頂ければ幸いです。それでは、新青年部担当の岩立係長をどうぞよろしくお願い致します。

これまで、本当にありがとうございました。

事業振興部 齋藤 孝行

・後任 岩立より

環境部環境対策課より11月8日付で教育研修部へ異動となりました、岩立一弥(いわたて かずや)と申します。

前任の齋藤係長が長年、青年部を支えてきたものを引き継ぐかたちとなり、まだまだ不慣れなことが多々ありますが、これからどうぞよろしくお願い致します。※ちなみに、これが私の似顔絵とのことです(似ているかわかりませんが)。お会いした際はよろしくお願い致します。



教育研修部 青年部新担当 岩立 一弥

※次号は5月発行予定です!